

細見美術館

# 美しき色、いにしへの裂きれ

The Beauty of the Old Fragments — Passion for Recreation of Gion Saito and Textiles -Yoshioka

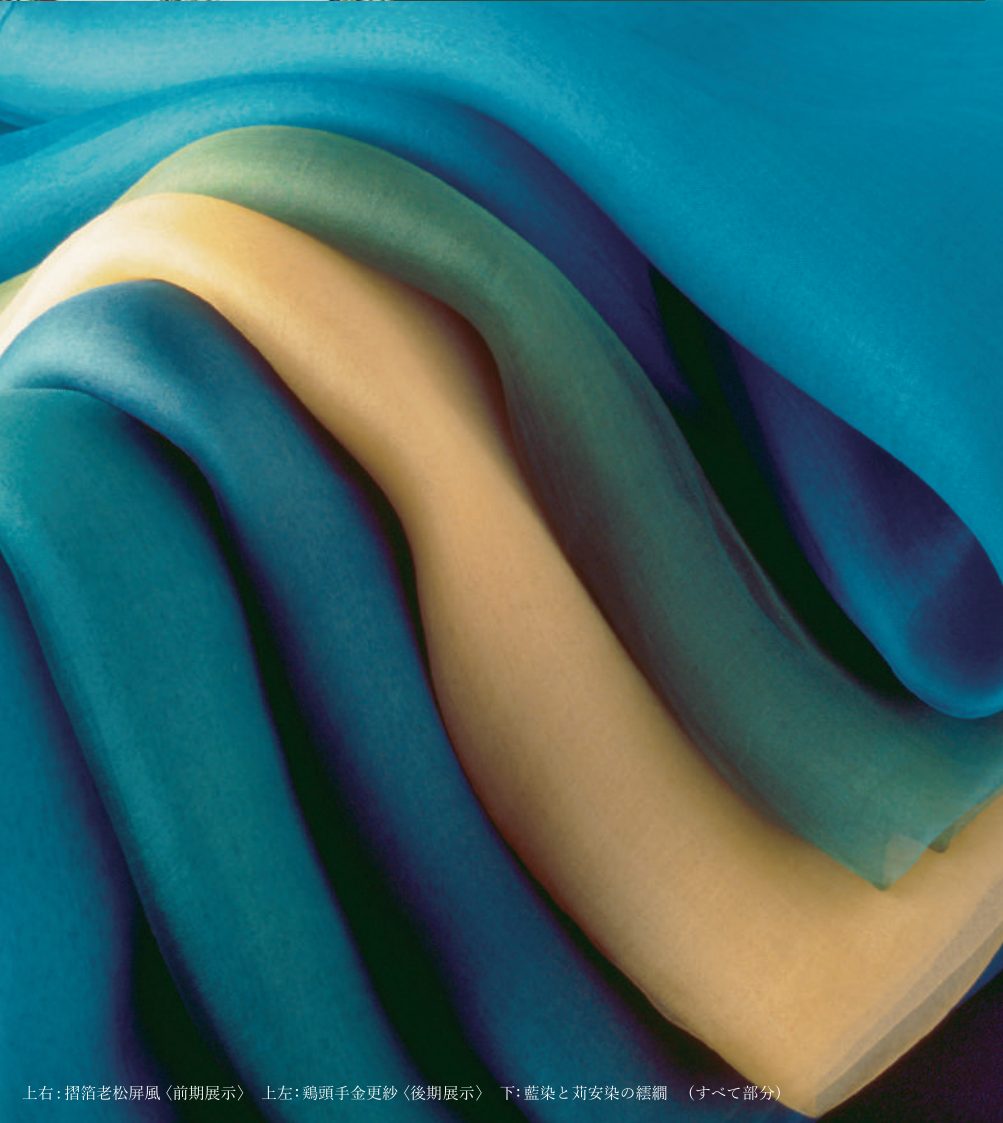
ぎをん齋藤と染司よしおかの挑戦

開館時間—午前10時—午後5時(入館は午後4時30分まで) 休館日—毎週月曜日(祝日の場合、翌火曜日)  
入館料—一般1400円 学生1100円 主催—細見美術館 京都新聞 特別協力—ぎをん齋藤 染司よしおか 協力—紫紅社  
会場—細見美術館 京都市左京区岡崎最勝寺町6-3 TEL075-752-1505 <http://www.venuseum.or.jp>  
急激な状況の変化により、止むを得ず会期・営業日時等を変更する場合があります。詳しくはホームページをご覧ください。

2022. 7.2 [土] — 8.28 [日]

前期 | 7.2 [土] — 7.31 [日]

後期 | 8.2 [火] — 8.28 [日]





# 美しき色、いにしへの裂きれ

ぎをん齋藤と染司よしおかの挑戦

京都の呉服専門店「ぎをん齋藤」七代目当主齋藤貞一郎氏と、植物染の「染司よしおか」五代目当主吉岡幸雄氏。

江戸時代より代々続く染織の家に生まれた二人は、家業を継ぎながらも伝統の枠にとらわれることなく、それぞれのスタイルで美を追求してきました。

本展では、熟練の職人と共に試行錯誤を繰り返して創りあげた、いにしへの色の再現や憧れの技を昇華させた新たな表現と、その過程にも焦点を当てています。

美しい色彩や素材へのこだわり、技の継承や職人の育成——さまざまな想いをたどりながら、染織に挑み、染織に魅せられた二人の姿を紹介します。



摺箔老松屏風（前期展示）



乞巧奠

## 齋藤貞一郎

（さいとう ていいちろう / 1948-2021）

京都生まれ。1843年創業の老舗呉服店「ぎをん齋藤」七代目当主。染織コレクターとしても知られ、そのコレクションは、辻が花や縫箔、慶長裂を中心に古代から近世までの日本の染織、さらには中国の出土裂にまで及ぶ。蒐集品に学び、精力的に古典技法や意匠を継承した作品は高く評価されている。

著書：『布の道標 齋藤貞一郎 古裂コレクション』（紫紅社）



撮影 鈴木誠一

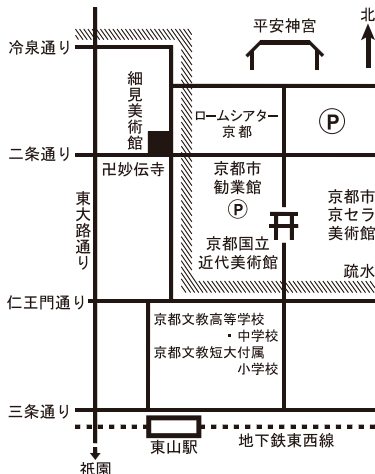
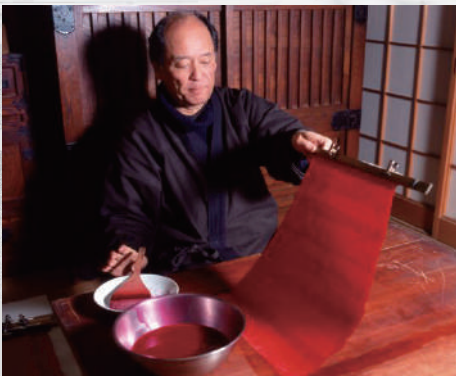
## 染織に魅せられた二人——

## 吉岡幸雄

（よしおか さちお / 1946-2019）

京都生まれ。1973年、図書出版「紫紅社」を設立。美術工芸の雑誌・全集・豪華本などを編集・出版。1988年、生家「染司よしおか」五代目当主を継ぎ、日本の伝統色の再現に取り組んだ。

著書：『日本の色辞典』・『源氏物語の色辞典』・『王朝のかさね色辞典』（紫紅社）、『男たちの色彩』（世界文化社）、『失われた色を求めて』（岩波書店）他多数。



### 交通のご案内

- ・市バス「東山二条・岡崎公園口」下車、徒歩3分
  - ・市バス「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車、徒歩5分
  - ・地下鉄東西線「東山」駅下車、徒歩10分
- ご来館には公共交通機関をご利用ください。

京都市左京区岡崎最勝寺町6-3  
TEL 075-752-5555  
<http://www.emuseum.or.jp>



### SNS 優待のご案内

「#美しき色いにしへの裂」をつけて Twitter もしくは Instagram に投稿いただくと、優待料金でご入館いただけます。

（一般 1,400円→1,300円 学生 1,100円→1,000円）



\*受付にて投稿画面をご提示ください  
\*他の優待との併用はできません

細見美術館公式 Twitter  
@Hosomi Museum



# 細見美術館

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ご入館および施設のご利用にあたってはマスクを着用ください。また、急激な状況の変化により、止むを得ず会期・営業日時等を変更する場合があります。詳しくはホームページをご覧ください。

### 次回展予告

響きあうジャパニーズアート  
2022年9月6日(火)～12月4日(日)